

ふくしま型ネットハウス内の環境条件

福島県農業総合センター 作物園芸部
平成18～19年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

農業環境 - 農業環境 - 環境調節、病虫害防除、施設資材
分類コード 11-01-17233500

2 担当者

木村善明・太田弘志・鈴木安和

3 要旨

ふくしま型ネットハウス栽培の利用拡大を進めるにあたり、ネットハウス内の気温や湿度、風速等の栽培環境条件を調査した。

- (1) ふくしま型ネットハウスとは、糸で編んだ編み目の細かいネットを、簡単な骨組みのパイプハウス全体に張ったハウスであり、この中で作物を栽培することで、ガの仲間やアブラムシなどの害虫がハウスの中に入り込むことを防ぐことができる。
- (2) ネット目の大きさが0.4mmのポリエチレン製防虫ネットを張ったハウスでは、7月、8月、9月の気温、地温や湿度にネットハウス内と露地(ネットハウスを使わない外の畑)とに差は見られない。
- (3) ネット目0.4mmの防虫ネットを張った各ハウスにおいては、露地と比べて風速がゆるやかとなり、また露地の風速が変化しても、ハウス内ではあまり変化せず、一定の風速となる傾向が見られる。
- (4) ネット目0.4mm、1.0mmの防虫ネットを張ったハウス内への日光の透過率(露地と比べて日光の量がどれだけ弱まったかを表す割合)は、どちらのハウスでも露地の7割程度まで減少する。
- (5) ネット目0.4mmの防虫ネットを張ったハウス内で栽培した夏秋ナス(夏から秋にかけて収穫するナス)の果実の皮の硬さは、露地で栽培したナスの果実と変わらない。

4 その他の資料等

なし